

2017.8.4

文責：瓜谷

第8回 BCAO 仙台地域勉強会 議事録

1. 日時：2017年8月4日（金）17時より18時30分頃まで

2. 場所：東北大学災害科学国際研究所 演習室 C

3. 参加者：<50音順> 計12名

*会員：丸谷（東北大災害研）、寅屋敷（東北大災害研）、五十嵐（コープ東北）、尾崎（ウィッシュ）、佐藤（ケーエス・ネットサービスカンパニー）、佐藤（宮城保険サービス）、千葉（コープ東北）、千葉（エキスパート）、藤田（コープ東北） 10名

*オブザーバー：根元（エキスパート）、瓜谷（東北大公共政策）、遠藤（東北大公共政策） 2名

4. 「BCAO アワード 2016 受賞者発表概要について」

○概要

・受賞者 3社からの発表動画の視聴（アクサ生命保険株式会社、日本自動車ターミナル株式会社、株式会社橋本店）

○質疑応答

① アクサ生命保険株式会社

Q: BCM 初期ステージでの意識変化のきっかけは何かあったのか。

A: 東京は守らなければならない、東北への人材投資の必要性というのがきっかけという説明だと思う。

Q: 専門部署の設立というのはどういうことか。

A: 機能の移管等を平時から考える部署。

Q: ホットサイトとコールドサイトとは何か。

A: もともとはコンピュータ用語。常時動いている札幌はホットサイトと言える。逆に平時動いていない福岡はコールドサイト。

Q: 保険業が小売業とどう連携するのか？

A: 部屋の確保（ビック：不動産）、生活必需品等の物資調達（イオン：小売）で提携。

② 日本自動車ターミナル株式会社

Q：東日本大震災時の問題点で、専門であるにもかかわらず物流ノウハウの欠如というの
はどういうことか？

A：平常時と異なる非常時の物流（出先がわからないものの管理等）という点においてとい
うことではないか。

Q:BCP の計画とマニュアルの関係とは

A:最初に作った骨子を BCP と称し、その具体的な行動策をマニュアルとしているのではな
いか。どこを BCP と定義するのかの問題で、こちらの場合はマニュアルと称している
ものも BCP と言えるのではないか。

Q:日本の他のターミナル会社も災害協定を結んでいるのか、それは進んでいるのか

A:東北に関してはトラック協会とはあるがターミナル会社とはない。

③ 株式会社橋本店

Q:災害拠点センターを海側に決めたポイントは何なのか、浸水区域に入っているのではな
いか

A:ハザードマップ上は問題ないエリアとなっている。少し小高いエリアになっているので
ないか。

Q:ショートメールが役に立ったというのはどういう仕組みを導入したのか

A:そんなに大きな企業ではないので、仕組みを導入したというよりは工夫での取り組みで
はないか。

5. その他

- ・ 次回の BCAO 仙台地域勉強会の開催日時：9 月 8 日（金）17 時～18 時 30 分
- ・ 議題：今回の続きを予定

以上